

第5回 台東区子ども歴史・文化検定 小学生問題

解答と解説

解説文の最後に、参考ページ数をのせています。

※改 とついているものは、改訂版テキストのページです。

平成26年8月23日（土）
台東区教育委員会

問1

正解 ウ

1868（慶応4）年の2月12日から4月11日まで寛永寺の大慈院だいじいんに入ってきんしん謹慎きんしんしました。（23ページ頁・改23頁）

問2

正解 ア

現在も浅草寺の本尊ほんぞんとして、聖観音しょうかんのんがまつられています。（14頁・改12頁）

問3

正解 エ

法華経や関東八ヶ国にちなんで「東照」とつけられました。（17頁・改16頁）

問4

正解 ア

下谷と浅草を一緒にしました。（25頁・改25頁）

問5

正解 ア

1944（昭和19）年8月から国民学校初等科（現在の小学校）3年生から6年生まで下谷区が福島県、浅草区が宮城県へ疎開そかいしました。現在の台東区の友好都市は会津高田町あいづたかだまち（現

会津美里町^{みさとまち}のように、当時の疎開先が縁^{ていけつ}で締結した自治体もあります。(32頁・改32頁)

問6

正解 イ

その代わり、隣接地^{りんせつち}に銭湯^{せんとう}が設け^{もう}られていました。(43頁・改44頁)

問7

正解 エ

石川亀吉は江戸末期から明治にかけて金魚の品種改良を行い今のランチュウの形にしました。(56頁・改56頁)

問8

正解 ウ

明治時代、根岸に住んでいた植木屋の篠常五郎^{しのつねごろう}が売り始めました。常五郎は自宅で万年青の品評会を開いたり、『万年青^{おもとすふ}図譜』という本を出版したりしています。(58頁・改58頁)

問9

正解 イ

カナリヤの他に、鶯^{うぐいす}も声の美しさを楽しむために飼^かわれました。(56頁・改56頁)

問10

正解 ア

区内には、寛永寺と浅草寺に「時の鐘」があります。現在でも毎日、寛永寺は朝夕6時と正午、浅草寺は朝6時に鳴らされています。(54頁・改54頁)

問11

正解 エ

こそで小袖は江戸時代のしよみん庶民のふだんぎ普段着です。(37、40頁・改36、41頁)

問12

正解 ア

明治時代の庶民は、井戸やトイレを共同で利用し、土間に台所を備えたそな棟割むねわり長屋に住んでいました。いっこだて一戸建は中流階級であるサラリーマンが住みました。文化住宅、アパートメントハウスは大正時代にみられた建物です。(42頁・改43頁)

問13

正解 ウ

江戸時代から明治時代にかけてかわらばん瓦版はいほう違法なす摺り物として禁止されていましたが、大衆の求めに応じて出版され続けました。(55頁・改55頁)

問14

正解 ア

今戸焼は江戸時代の初めに隅田川沿岸で焼かれ始めた素焼きの土器を指しています。(改60頁)

問15

正解 イ

写真は堀口製作所の堀口宏さんです。「襖引手作り」は2008年に生活文化財に指定されました。(61頁・改60頁)

問16

正解 ウ

飛行機とヘリコプターは江戸時代にはありませんでした。蒸気機関車は外国では使われていましたが、日本で蒸気機関車による鉄道が開通したのは1872(明治5)年です。(65頁・改64頁)

問17

正解 イ

トロリーバスは道路上の架線から電気を取り走るバスでしたが、1968(昭和43)年に廃止されました。(66頁・改66頁)

問18

正解 エ

明暦の大火は江戸の中心部から浅草方面への寺院の移転をうながしました。関東大震災は1923（大正12）年におきました。（83頁・改83頁）

問19

正解 イ

不忍池は上野恩賜公園の一部で、四季折々の自然を楽しむことができます。特に春のサクラと夏のはすは有名です。（72～73、75～77頁・改72～73、75～77頁）

問20

正解 イ

江戸時代の初めの寛永寺^{そうえん}創建の時に、天海僧正^{てんかいそうじょう}によりつくられました。（75頁・改75頁）

問21

正解 ア

明暦の大火をきっかけに、谷中・浅草を中心に多くの寺院が移転してきました。また、広小路のような火除地^{ひよけち}がつけられました。（80、83頁・改80、83頁）

問22

正解 ウ

七福神は恵比須・大黒天・毘沙門天・弁財天・福祿寿・布袋・寿老人をいいます。台東区には谷中七福神、浅草名所七福神、下谷七福神などがあります。(91頁・改88頁)

問23

正解 ア

毎年1月8日に行われる行事で、竹をもった子供たちが「とんとんと」といいながら地面をたたきます。正月飾りを燃やすこの火にあると1年を元気に過ごせるともいわれています。(91頁・改88頁)

問24

正解 エ

江戸時代からある行事と伝えられ、毎年1月12日10時に報恩寺で行われる行事です。このときに鯉2匹が料理されます。(91頁・改89頁)

問25

正解 イ

11月中の酉の日に開かれる市で、「福を掻き込む(取り込む)熊手」という文句とともに、おたふくや千両箱、稲穂などをつけた熊手が縁起物として売られています。(99頁・改96頁)

問26

正解 ウ

江戸時代、三社権現社さんじゃごんげんしゃ（今の浅草神社）で行われていた流鏝馬やぶさめは、一時期とだえていましたが、1983年に観光行事として復活し毎年4月上旬に隅田公園で行われています。（93頁・改91頁）

問27

正解 エ

江戸時代に流行した朝顔は、今では区の花に指定されています。入谷の朝顔市は毎年7月に開かれ、大勢の人でにぎわいます。（96頁・改94頁）

問28

正解 エ

浅草流鏝馬は4月、入谷朝顔まつりは7月、江戸流しびなは3月に行われます。（93、96、97頁・改90、91、94頁）

問29

正解 イ

目赤不動は文京区、目青不動は世田谷区、目白不動は豊島区にあります。（110頁・改107頁）

問30

正解 ウ

浅草神社は明治時代に入ってからの名前で、江戸時代までは三社権現社と呼ばれていました。檜前^{ひのくまのはまなり}・浜成^{たけなり}・竹成兄弟と土師中知^{はじのなかとも}（名前にはさまざまな説があります）の3人をまつているので3社といいます。東京に残る権現づくりの代表的な建物で、三社祭でも知られる国の重要文化財です。（改112頁）

問31

正解 イ

初代御行の松は、高さ13.63m、幹の周囲は4.09mあり、樹齡^{じゅれい}350年と推定^{すいてい}されていましたが、1928（昭和3）年に枯^かれてしまいました。また、2代目の松は20年ほどで枯れてしまいました。（105頁・改102頁）

問32

正解 ア

大根は待乳山^{まつちやましようでん}聖天のシンボルにもなっていて、毎年1月7日には大根まつりが開かれます。（103頁・改100頁）

問33

正解 イ

江戸時代には市中にいくつもの富士塚^{ふじづか}がつけられましたが、今まで残っているものは少なく、貴重な塚です。（113頁・改110頁）

問34

正解 エ

新堀川しんぼりがわは現在のかっぱ橋道具街通りを流れていました。雨合羽あまがっぱを売って財さいを築きずいた合羽屋喜八かっぱやきはちの墓はかが、松が谷3丁目の曹源寺そうげんじ（かっぱ寺）にあります。（104頁・改101頁）

問35

正解 ウ

幕府ばくふから命令を受けた天文学者の高橋至時たかはしよしときは、浅草天文台で星の観測かんそくを続け、寛政かんせいの改暦かいろきを完成させました。（117～118頁・改114～115頁）

問36

正解 ウ

江戸時代には現在の荒川区西日暮里から谷中にかけてがショウガしょうがの産地さんちでした。この一帯は水みづに恵まれ、排水はいすいもよく、日当たりも西日が当たらないという好条件に恵まれていたと一般的にいられています。（124頁・改121頁）

問37

正解 エ

オランダは、漢字で「和蘭」「阿蘭陀」と書きます。その中の「蘭」の字を取って、ヨーロッパの学問を「蘭学らんがく」というようになりました。（117頁・改114頁）

問38

正解 ウ

^{たかまつりよううん}高松凌雲は幕末から明治時代にかけて^{かつやく}活躍した医師で、徳川^{よしのぶ}慶喜にも^{つか}仕えました。貧^{ます}しい人々を無料で^{しんさつ}診察する^{どうあいしゃ}同愛社をつくった人でもあります。(123頁・改120頁)

問39

正解 イ

^{ただたか}忠敬の時代には飛行機はありませんでした。飛行機が実用化されたのは、20世紀に入ってからです。(120～121頁・改117～118頁)

問40

正解 ア

^{たかむらこううん}高村光雲は、明治～昭和時代の^{ちようこくか}彫刻家です。伝統的な木^{もくちよう}彫技術と西洋彫刻をあわせて、近代彫刻発展の基礎をつくりました。(133頁・改130頁)

問41

正解 ウ

自動車^{自動車}が日本に初めて輸入されたのは、1898(明治31)年といわれています。(147頁・改146頁)

問42

正解 エ

1876(明治9)年の上野公園開園式典のレセプション会場のために作られ、その後色々な使われ方をしました。台東区が誕生したのは1947(昭和22)年です。(141頁・改140頁)

問43

正解 イ

明治時代には今に比べて高い建物が少なく、区内各地で富士山が良く見えました。東京スカイツリーは2012(平成24)年の完成です。(141頁・改140頁)

問44

正解 ウ

ろくめいかん鹿鳴館は舞踏会場として^{ひびや}日比谷に建てられました。(141頁・改140頁)

問45

正解 イ

ア、ウ、エは上野公園内で見ることができます。イは^{はむら}羽村市にあります。(142頁・改141頁)

問46

正解 エ

1949（昭和24）年に両校が統合され東京藝術大学となりました。（146頁・改145頁）

問47

正解 ア

開園当時、国内施設は不十分で、式典後のレセプション会場にも困る状況でした。上野公園の場合、岩倉具視いわくらともみの知り合いであった精養軒せいようけんに出店を依頼して現在地に建てられました。その後も上野精養軒はレセプション会場として使用されましたが、のちに新たな施設しせつとして「鹿鳴館」が現在の日比谷公園付近につくられました。（141頁・改140頁）

問48

正解 エ

代表的な句は「柿食へば鐘がなるなり法隆寺」です。（167頁・改166頁）

問49

正解 ウ

ポリ袋の材料となるポリエチレン、ポリプロピレンなどの製造せいぞうは新しい技術で、江戸時代には日本ではつくられていませんでした。（159頁・改158頁）

問50

正解 イ

1910（明治43）年に建てられた旧吉田屋^{きゅうよしだ やきけてん}酒店は、明治時代の商家の^{とくちょう}特徴を持つ貴重な建物です。当時のとっくりやポスターなど、色々な資料も残っています。（161頁・改160頁）